

## 「コロナ『だからこそ』礼拝を」

### テモテへの手紙 二 3章 16～17 節

聖学院中学校高等学校チャプレン 久保哲哉

わたしたちの通う聖学院中高は、キリスト教を教育の土台としたキリスト教学校です。ぜひ、皆さんが中学1年生のときのことを思い出してみてください。毎朝、授業に先立って「礼拝をする」ということに、新鮮さと不思議さを持ったことだろうと想像します。なぜ、聖学院中高は毎朝を礼拝から始めるのでしょうか。

それは、聖書を開いて、神の言葉を聞くと、励まされ、元気づけられるからです。聖学院中高では、こんなときだからこそ、毎朝、全校礼拝から一日を始めたいと願っています。それほど、聖学院中高は「礼拝」を大切にしていることを、是非、心にとめて欲しいと願っています。それに、実は、私たちのように「礼拝」を大切にしているミッションスクールはこの日本でもたくさんあるのですよね。

ある統計によれば、わたしたちのようなキリスト教学校は、日本全国に「292 校」あるようです。さらに、その 292 の小学校・中学校・高等学校には「34 万 2242 人」の生徒たちが通っているということです。きっと、ここ、聖学院と同じように「こんなときだからこそ」と礼拝を守っている学校も多いことでしょう。

なぜ、こんなにたくさんの学校が礼拝を、そして聖書の授業を大切にしているのでしょうか。その理由が、今日の聖書箇所には記されていますので、再び読みましょう。テモテへの手紙二3章16節です。

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です」

とあります。これは、本当のことです。「義に導く」とは難しい表現ですから少し解説しましょう。「義」とは「正しい」ということです。ですから「義に導く」といったときには「正しい道に導く」と言い換えてよいと思います。

それで、この言葉と向き合うときに、是非皆さんには、自分が今、正しい道を歩んでいるかどうか。特に、「人間関係」において、「愛の領域」において正しい道を歩んでいるかどうかを吟味していただきたいのです。それはなぜか。今、コロナウイルスの猛威によって、世界中が大変な状況にありますから、どうしても心が定まらないというか、心が右往左往しがちである。そのようなときだと思います。悲しいかな。人間という存在は、そういうときに、心のとげが出てきまして、曲がった道を進みがちになるのが人間というものだからです。

久保家には3歳、6歳、9歳の3人の子どもたちがいるのですが、4月から小学校と幼稚園が休校になって、毎日、家でケンカをしています。この状況における不安もあるのでしょう。「このころのとげ」同士がぶつかる。その頻度が明らかに増えました。家族の中でも、的を外れな方を向かないで、神様をみて、神を仰ぎ、人に仕えるという方向を向いていればとげがぶつからないのですけれども、なかなかそうはいかない。

そういう意味で、聖書はいうのです。すべての人は罪人であり、「誤りを正(Ⅱテモテ 3:16)」されて、まっすぐな、正しい道に導かれる必要があるのだ。

もっと言うと、「罪」という言葉は、聖書の元々の言葉で「的の外れ」な状態を意味する言葉です。私たちのスクールモットー(「神を仰ぎ、人に仕う」「オンリーワン・フォー・アザーズ」)に照らして考えるなら、神を仰ぐことを忘れ、人に仕える(サポートする・フォーアザーズ)が忘れられ、自己中心・自分のことばかり考えてしまうとき、人は「罪」の中にあり、正しい道ではない。的の外れな方向に、誤った方向に進んでいってしまうということでしょう。そんな的の外れな方向を進んでいた私たちの「罪」の問題を解決し、「誤りを正し」正しい道に、「義に導く」そのために、主イエス・キリストが命をかけて十字架におかかりになった。これが、キリスト教の中心の教えです。

私たちは、そして多くのキリスト教学校は、日々、礼拝をささげ、神の言葉を聞くことで、私たちの心が元気づけられ、まっすぐにされると信じています。だから、わたしたちは礼拝を大切にしているのです。

皆さんも、コロナの状況で疲れを覚えている人が多くいるでしょう。どうぞコロナ禍『だからこそ』毎朝の全校礼拝を大切にしてくださいね。きっと心も体も神の言葉によって元気づけられるでしょう。祈りましょう。

天の父なる神よ。あなたの御名をたたえます。

今日もあなたがご覧の通り、全校礼拝を守ることができました。ありがとうございます。私たちが誤った道・的の外れな道をゆくときには正しい道に引き戻してください。礼拝によって指し示された正しい道を、愛の道を、私たちが進みゆくことができますように、支え、導いてください。愛する主・イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

2020年4月18日 聖学院中学校高等学校 全校オンデマンド礼拝